2014年3月期
決算説明会資料

Copyright ©DAIKOKU DENKI Co.,Ltd. All rights reserved.

資料の内容

- 2014年3月期決算報告 ---------- p.3
- 2015年3月期業績見通し ---------- p.12
- 事業環境 ---------- p.17
- 事業戦略・施策 ---------- p.27
- 中期経営計画 ---------- p.36
- 配当について---------- p.39

＜注　記＞

本資料に掲載されているダイコク電機の現在の計画、見通し、戦略、確信等のうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。これらの情報は、現在入手可能な情報から当社の経営者の判断に基づいて作成されております。

実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、業績見通しのみに全面的に依拠することは控えるようお願い致します。

また、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。

投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるよう、お願い申し上げます。

Copyright ©DAIKOKU DENKI Co.,Ltd. All rights reserved.

2014月3月期の主なニュースリリース

[決算関連情報]

■ 2013年

8月9日 平成26年3月期 第1四半期決算短信
10月28日 業績予想の修正
10月28日 配当予想の修正
11月11日 剰余金の配当(中間配当)
11月11日 平成26年3月期 第2四半期決算短信

■ 2014年

2月10日 業績予想の修正
2月10日 平成26年3月期 第3四半期決算短信
3月24日 オンキヨー株式会社の子会社株式の一部取得
3月24日 特別一時金の支給及びベースアップの実施
3月24日 配当予想の修正
5月12日 平成26年3月期 決算短信
5月12日 剰余金の配当に関するお知らせ

[新製品等事業関連情報]

■ 2013年

4月2日 DAXEL株式会社製パチスロ遊技機『まじかるすいーとプリズム・ナナ』発売
10月28日 マカオゲームショー2013「ジャパン パビリオン」ブース出展

Copyright ©DAIKOKU DENKI Co.,Ltd. All rights reserved.

2014年3月期
決算報告

Copyright ©DAIKOKU DENKI Co.,Ltd. All rights reserved.

2014年3月期決算概要(連結)

連結損益計算書

ブランドの総合力でホールからの評価を獲得 ・・・情報システム事業は、過去最高の売上高

単位:百万円	2013年3月期	2014年3月期	前期比	計画比
売上高	58,861	56,954	△3.2%	+11.7%
差引売上総利益	18,776	18,691	△0.5%	+9.9%
販売管理費	11,753	13,353	+13.6%	+2.7%
営業利益	7,023	5,338	△24.0%	+33.5%
経常利益	7,244	5,474	△24.4%	+36.9%
当期純利益	4,161	3,278	△21.2%	+63.9%
研究開発費	2,720	3,656	+34.4%	+4.5%

(注)計画比は、2013年11月11日に発表した2014年3月期 業績予想数値、並びに、2013年11月28日開催の機関投資家・アナリスト向け2014年3月期第2四半期決算説明会資料記載の計画対比です。

■売上高減少要因

2014年3月期は、情報システム事業はCRユニット(プリペード式台間玉貸機)や情報公開機器が高く評価され創業来最高の売上高となりましたが、制御システム事業は当社が携わった販売機種数が少なかったこともあり売上高は減少しました。

■売上総利益 維持要因

利益率のよい情報システム事業の売上高が伸びたことによります。

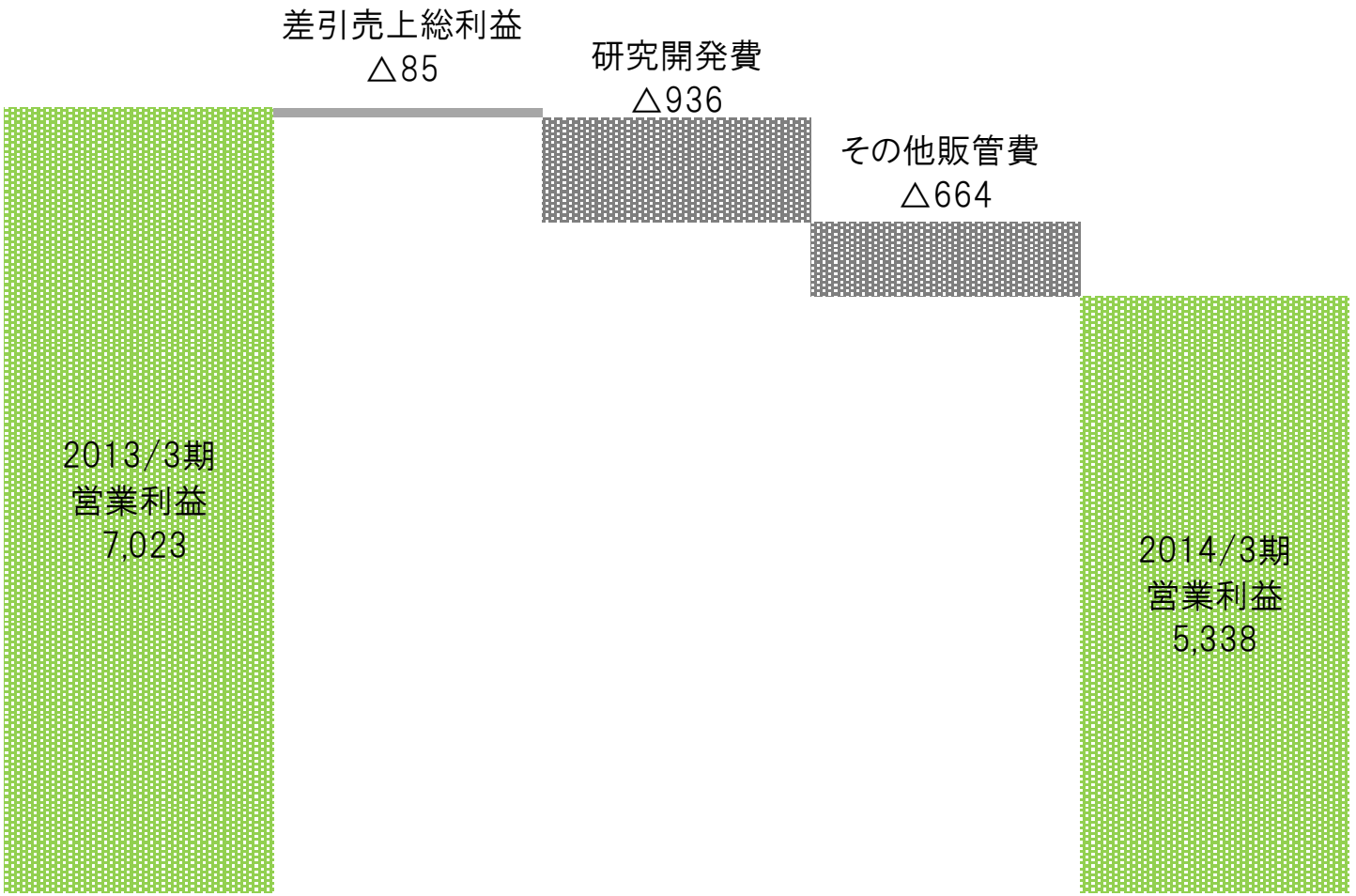
■販売管理費増加要因

情報システム事業において、次世代製品群開発へ積極的投資を開始いたしました。

Copyright ©DAIKOKU DENKI Co.,Ltd. All rights reserved.

営業利益増減要因

前期比　△1,685百万円

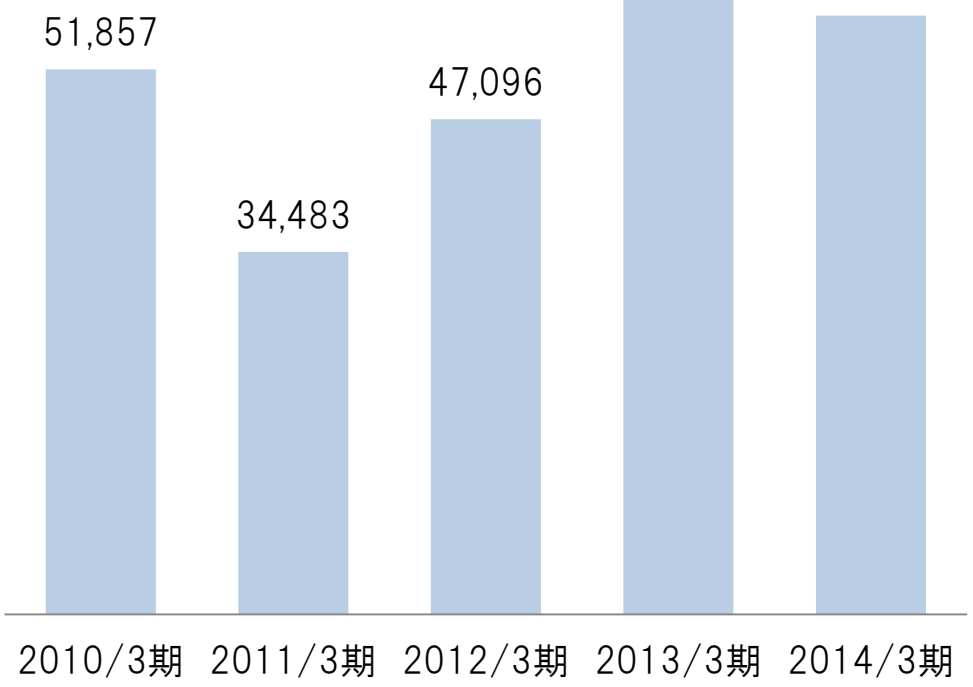


Copyright ©DAIKOKU DENKI Co.,Ltd. All rights reserved.

売上高、営業利益の推移

売上高

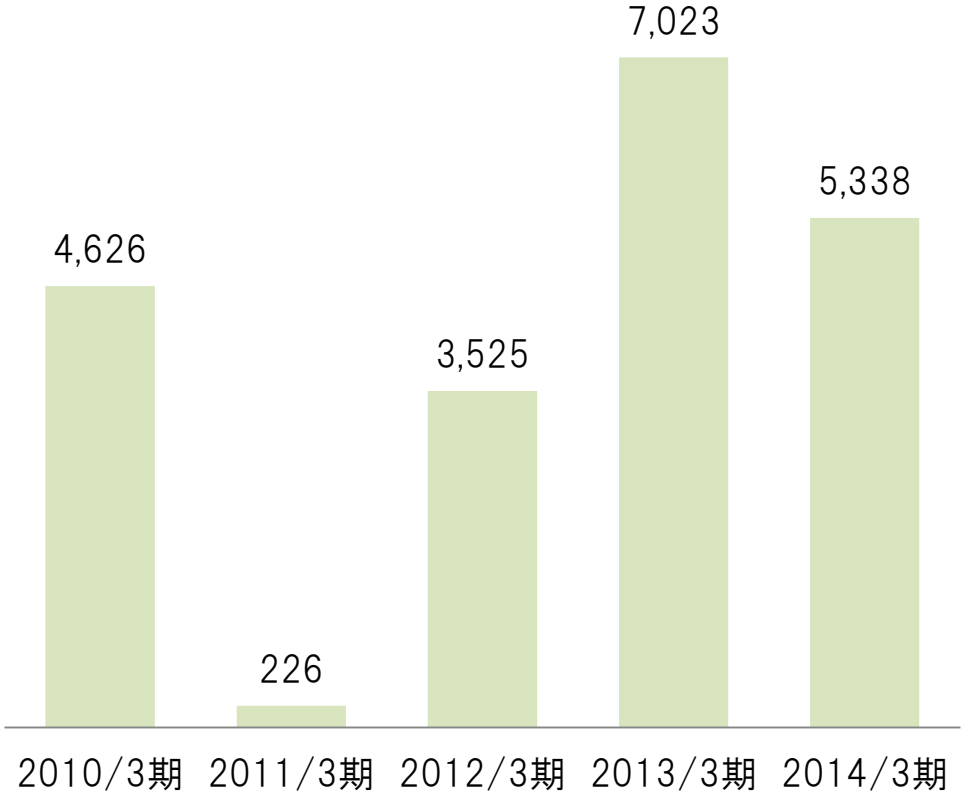
単位：百万円



売上高

営業利益

単位：百万円



営業利益

Copyright ©DAIKOKU DENKI Co.,Ltd. All rights reserved.

2014年3月期　決算概要(連結)

連結貸借対照表

単位:百万円	2013年3月期	2014年3月期	増減
流動資産	39,789	37,045	△2,744
固定資産	16,916	16,884	△32
資産合計	56,706	53,929	△2,776
流動負債	24,544	20,159	△4,385
固定負債	1,722	1,509	△213
負債合計	26,267	21,669	△4,598
純資産合計	30,439	32,260	＋1,821
負債純資産合計	56,706	53,929	△2,776
有利子負債	1,269	800	△469
D/Eレシオ(グロス)	0.04倍	0.02倍	△0.02倍
純資産比率	53.7%	59.8%	＋6.1%
売上債権回転日数	61.6日	73.5日	＋11.9日
棚卸資産回転日数	45.7日	55.8日	＋10.0日
仕入債務回転日数	88.3日	105.8日	＋17.4日
発行済株式数(株)	14,783,412	14,783,322	

■総資産（前期比）△2,776百万円

流動資産 △2,744百万円

2015年3月期に未収入金の増加がありましたが、現金及び預金や原材料が大きく減少したことによります。

固定資産　△32百万円

遊休資産等の売却が減少要因であります。

■負債（前期比）△4,598 百万円

未払金の増加がありましたが、仕入債務及び未払法人税等が大きく減少したことによります。

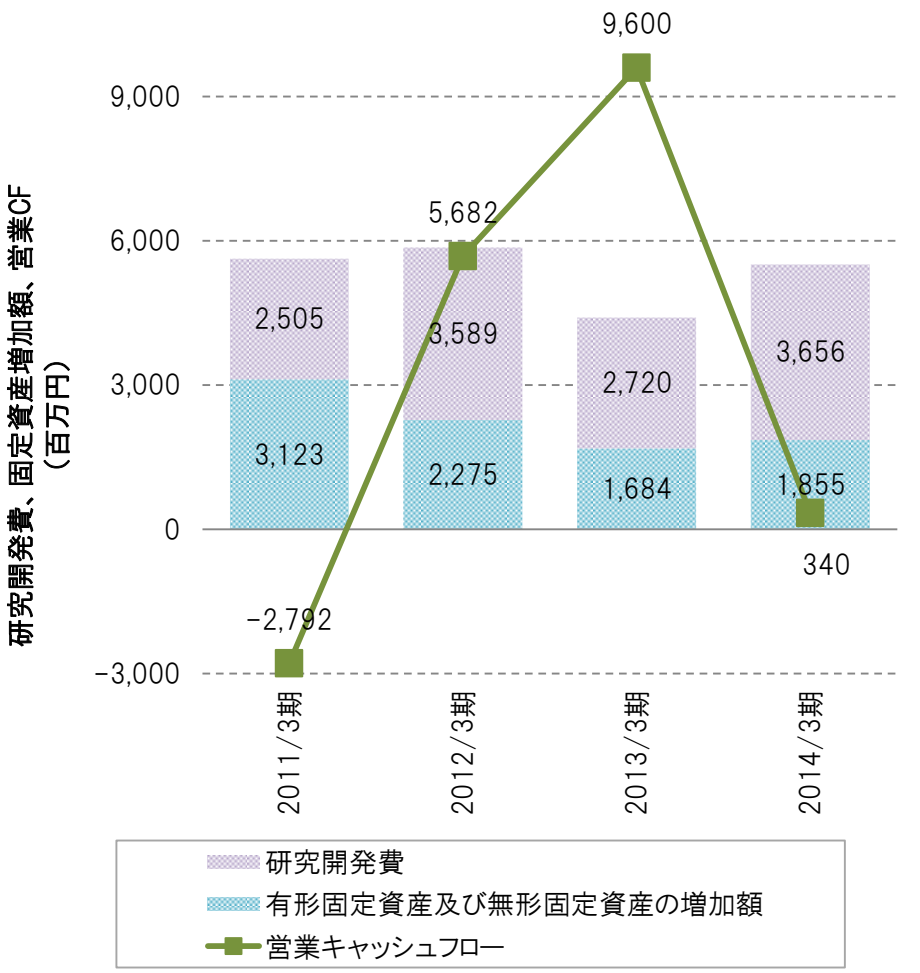
■純資産（前期比）＋1,821百万円

利益剰余金の増加によります。なお、自己資本比率は前連結会計年度に比べ6.1ポイント上昇の59.8%となりました。

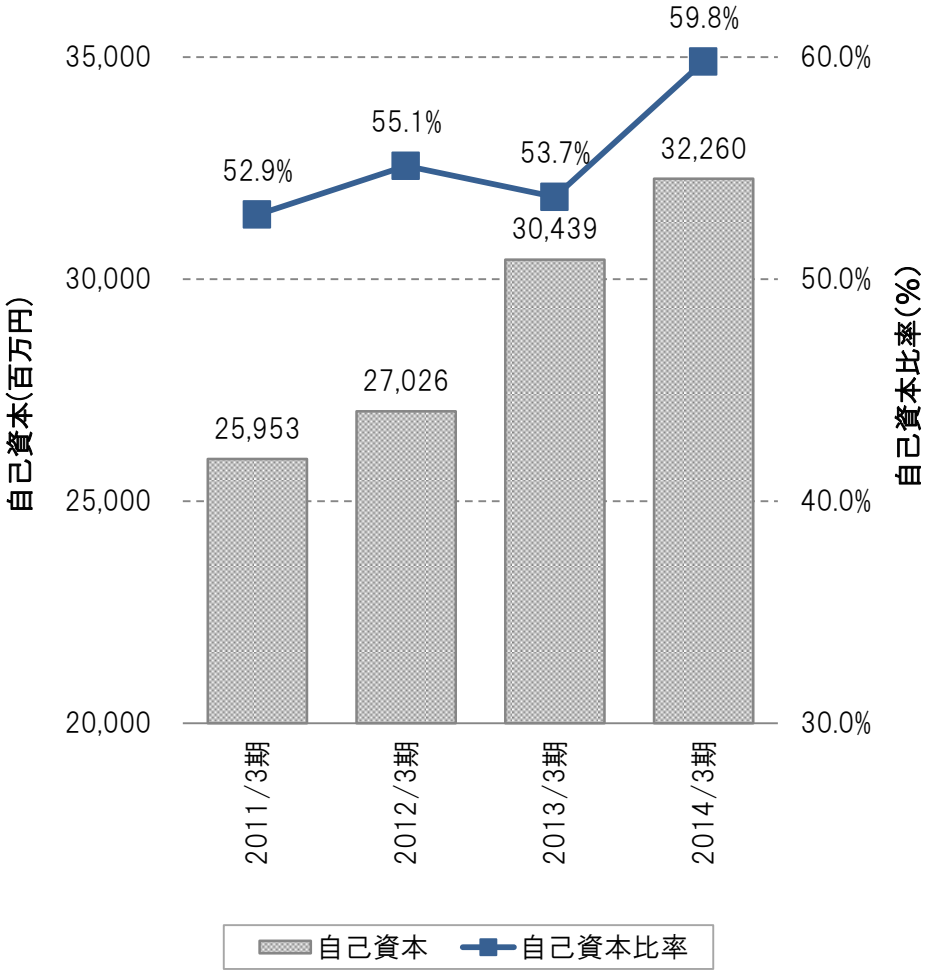
Copyright ©DAIKOKU DENKI Co.,Ltd. All rights reserved.

研究開発費･固定資産増加額･営業CF、自己資本の推移

研究開発費、固定資産増加額、営業CF



自己資本、自己資本比率



Copyright ©DAIKOKU DENKI Co.,Ltd. All rights reserved.

キャッシュフロー計算書

単位:百万円	2013年3月期	2014年3月期	前期比
営業CF	9,600	340	△9,260
投資CF	2,153	△1,655	△3,808
財務CF	△7,003	△1,809	＋5,194
現金及び現金同等物	18,406	15,281	△3,124
3カ月超定期預金	100	100	0

■営業CF（前期比）△9,260百万円

営業活動による資金の収入は3億40百万円となり、　主な内容は、前連結会計年度の末日が金融機関の休日により仕入債務の額が大きく減少したことや法人税等の支払額が大きかったことによります。

■投資CF（前期比）△3,808百万円

投資活動による資金の支出は16億55百万円となり、主な内容は生産用設備や各事業所の改修費用、ソフトウェアのバージョンアップ費用による固定資産の支出が大きかったことによります。

■財務CF（前期比）＋5,194百万円

財務活動による資金の支出は18億9百万円となり、　主な内容は借入金返済、配当金支払によります。

■現金及び現金同等物(前期比）△3,124百万円

当連結会計年度における現金及び現金同等物は31億24百万円減少の152億81百万円となりました。

Copyright ©DAIKOKU DENKI Co.,Ltd. All rights reserved.

セグメント別業績

前期比 売上△1,907百万円△3.2%、営業利益△1,685百万円△24.0%

単位：百万円

		2013年3月期	2014年3月期	前期比	計画比
情報システム事業	売上高	31,685	36,065	＋13.8%	＋16.3%
	ｾｸﾞﾒﾝﾄ利益	6,069	6,093	＋0.4%	＋10.8%
制御システム事業	売上高	27,184	20,889	△23.2%	＋4.4%
	ｾｸﾞﾒﾝﾄ利益	2,930	1,127	△61.5%	＋181.8%
全社経費		△1,976	△1,883	△4.7%	△0.9%
連結	売上高	58,861	56,954	△3.2%	＋11.7%
	営業利益	7,023	5,338	△24.0%	＋33.5%

（注）計画比は、2013年11月11日に発表した2014年3月期 業績予想数値、並びに、2013年11月28日開催の機関投資家・アナリスト向け2014年3月期第2四半期決算説明会資料記載の計画対比です。

事業の種類別セグメントの業績の金額には、セグメント間取引が含まれております。

■情報システム事業

創業来最高の売上高を記録・・・CRユニットや情報公開機器の売上が貢献。

①MIRAIGATEネットワークを活用したホール支援サービス「CⅡスタンダード」等の充実を図り顧客満足度の更なる向上に取組みました。

②セキュリティや効率的運用を提案したCRユニット「VEGASIA」や大型モニター化・高機能化した新製品「BiGMO PREMIUM」及び呼出ランプ「IL-X」が市場で高く評価され、販売が好調に推移しました。

■制御システム事業

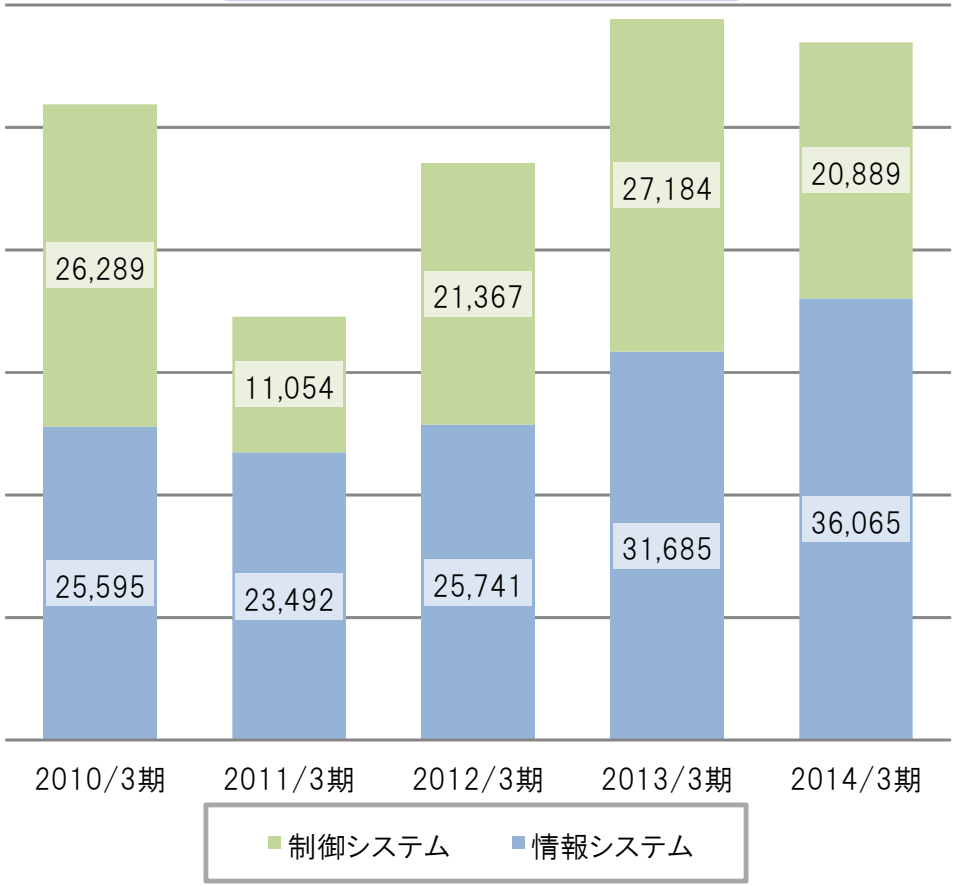
当社が携わった販売機種数が少なかったこともあり売上高が減少しました。

企画力提案の強化、グループ会社との融合による開発ラインの増強に努め、液晶パネルやモーター、スイッチ、電源等周辺部品の販売は堅調に推移しました。

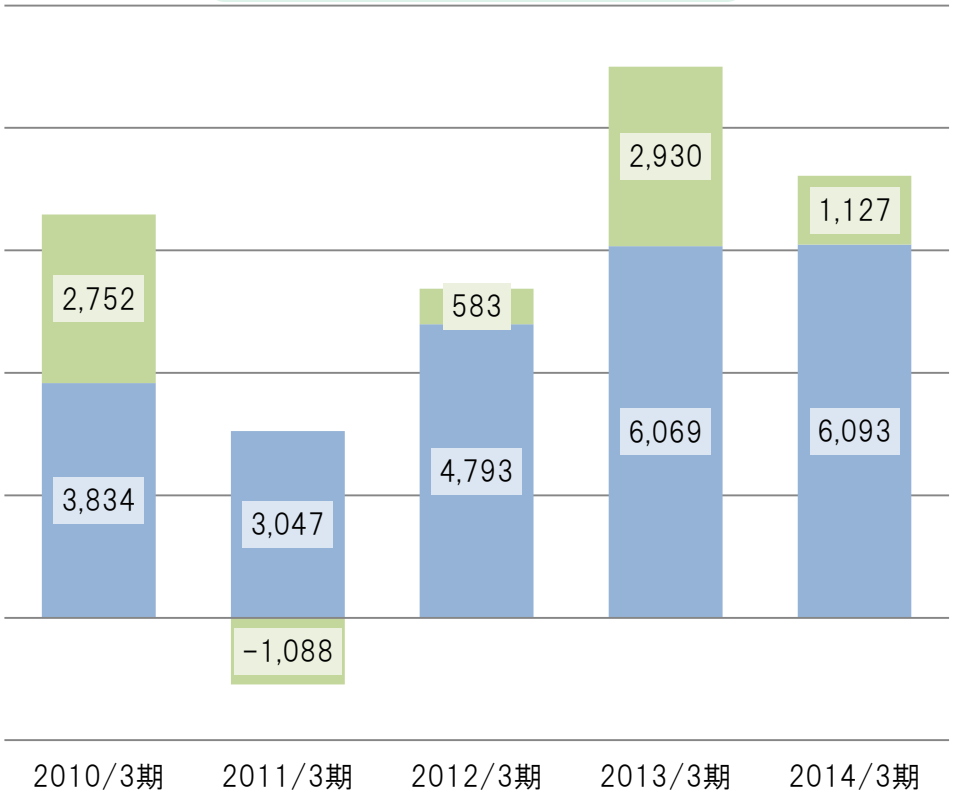
Copyright ©DAIKOKU DENKI Co.,Ltd. All rights reserved.

セグメント売上高、セグメント利益の推移

セグメント売上高



セグメント利益



（注）事業の種類別セグメントの業績の金額には、セグメント間取引が含まれております。
2013年3月期より、情報システム事業と制御システム事業の2事業としました。上記の2012年3月期以前の制御システムは、アミューズメントコンテンツ事業を合算して表示しております。

Copyright ©DAIKOKU DENKI Co.,Ltd. All rights reserved.

2015年3月期
業績見通し

Copyright ©DAIKOKU DENKI Co.,Ltd. All rights reserved.

2015年3月期　業績見通し

○ 売上高[19億54百万円減少]

■情報システム事業（30億65百万円減少）　360億65百万円→330億円

ホールコンピュータ「ＣⅡ」との連動による機能面が強化されたCRユニット「VEGASIA」、昨年11月にリリースし高い評価を得た「BiGMO　PREMIUM」を中心とした台毎データ表示機の拡販と、MIRAIGATEネットワークユーザーとの関係強化に取組むとともに、前期より実施している次世代製品開発を継続します。

■制御システム事業（11億11百万円増加）　208億89百万円→220億円

稼動貢献を目標に、技術力のある企業と積極的に連携し、事業領域を拡げるとともに、3年先の市場環境を見据えた機械作りに取組んでまいります。

○ 販売管理費（16億47百万円増加）　133億53百万円→150億円

主な増加要因は、開発費（情報9億増、制御1億増）、業務委託費、販売促進費及び販売手数料等。

Copyright ©DAIKOKU DENKI Co.,Ltd. All rights reserved.

2015年3月期決算見込(連結)

単位:百万円	2014年3月期			2015年3月期(見込)			前期比
	上期	下期	通期	上期見込	下期見込	通期見込	
売上高	25,882	31,072	56,954	27,000	28,000	55,000	△3.4%
差引売上総利益	8,191	10,500	18,691	8,500	9,500	18,000	△3.7%
販売管理費	5,704	7,649	13,353	7,000	8,000	15,000	+12.3%
営業利益	2,487	2,851	5,338	1,500	1,500	3,000	△43.8%
経常利益	2,559	2,915	5,474	1,500	1,500	3,000	△45.2%
当期純利益	1,543	1,735	3,278	1,000	1,000	2,000	△39.0%
1株当たり利益	104.38	—	221.80	67.64	—	135.29	—
研究開発費	1,125	2,531	3,656	1,700	3,000	4,700	+28.6%
減価償却費	688	764	1,452	700	900	1,600	+10.2%
設備投資	192	797	989	300	300	600	△39.3%

Copyright ©DAIKOKU DENKI Co.,Ltd. All rights reserved.

セグメント別売上見込

		2014年3月期			2015年3月期		
単位：百万円		上期	下期	通期	上期	下期見込	通期見込
情報システム事業	売上高	15,562	20,503	36,065	15,000	18,000	33,000
	セグメント利益	2,950	3,143	6,093	2,300	2,000	4,300
制御システム事業	売上高	10,320	10,569	20,889	12,000	10,000	22,000
	セグメント利益	508	619	1,127	100	400	500
全社経費		△970	△913	△1,883	△900	△900	△1,800
連結	売上高	25,882	31,072	56,954	27,000	28,000	55,000
	営業利益	2,487	2,851	5,338	1,500	1,500	3,000
		2014年年3月期			2015年3月期		
売上比率（上期：下期）		45.4%	54.6%	100%	49.1%	50.9%	100%
情報システム事業	ホールコンピュータ「C」台数	90台	113台	203台	90台	110台	200台
	「情報公開システム」売上（百万円）	3,741	5,821	9,562	3,800	4,700	8,500
	「景品顧客システム」売上（百万円）	1,901	1,937	3,838	1,600	1,900	3,500
	「MGサービス」売上（百万円）	1,363	1,499	2,862	1,500	1,650	3,150
制御システム事業	表示ユニット機種数	6機種	12機種	18機種	7機種	7機種	14機種
	「表示ユニット」売上（百万円）	2,958	7,125	10,083	4,500	5,800	10,300
	「部品」売上（百万円）	4,659	2,584	7,243	4,000	1,500	5,500

（注）事業の種類別セグメントの業績の金額には、セグメント間取引が含まれております。

Copyright ©DAIKOKU DENKI Co.,Ltd. All rights reserved.

＜参考資料＞セグメント別売上推移（3期分）

	単位：百万円	2011年3月期 上期	2011年3月期 下期	2011年3月期 通期	2012年3月期 上期	2012年3月期 下期	2012年3月期 通期	2013年3月期 上期	2013年3月期 下期	2013年3月期 通期
情報システム事業	売上高	11,379	12,112	23,492	11,553	14,187	25,741	16,724	14,960	31,685
	セグメント利益	1,954	1,093	3,047	1,765	3,028	4,793	4,030	2,039	6,069
制御システム事業	売上高	5,133	5,921	11,054	16,552	4,814	21,367	10,947	16,236	27,184
	セグメント利益	△447	△641	△1,088	1,325	△741	583	549	2,381	2,930
全社経費		△894	△838	△1,732	△972	△879	△1,852	△976	△1,000	△1,976
連結	売上高	16,510	17,972	34,483	28,100	18,995	47,096	27,665	31,195	58,861
	営業利益	612	△386	226	2,118	1,407	3,525	3,603	3,420	7,023

		2011年3月期			2012年3月期			2013年3月期		
売上比率（上期：下期）		47.9%	52.1%	100%	59.7%	40.3%	100%	47.0%	53.0%	100%
情報システム事業	ホールコンピュータ「C」台数	127台	104台	231台	120台	123台	243台	118台	87台	205台
	「情報公開システム」売上（百万円）	2,467	2,721	5,188	2,493	4,051	6,544	4,310	3,847	8,157
	「景品顧客システム」売上（百万円）	2,737	3,252	5,989	2,525	2,721	5,246	2,252	1,795	4,047
	「MGサービス」売上（百万円）	642	715	1,357	732	954	1,686	1,113	1,294	2,407
制御システム事業	表示ユニット機種数	3機種	7機種	10機種	6機種	3機種	9機種	9機種	11機種	20機種
	「表示ユニット」売上（百万円）	1,556	2,856	4,412	11,036	1,492	12,528	5,933	9,906	15,839
	「部品」売上（百万円）	2,355	1,786	4,141	3,485	2,481	5,966	4,365	5,053	9,418

（注）事業の種類別セグメントの業績の金額には、セグメント間取引が含まれております。

Copyright ©DAIKOKU DENKI Co.,Ltd. All rights reserved.

事業環境

Copyright ©DAIKOKU DENKI Co.,Ltd. All rights reserved.

最近の業界動向・見通し

○ 最近の業界動向

① 当社DK-SISデータによると、ここ数年パチンコホールの業績は継続的に緩やかな下落傾向となっておりましたが、平成25年は過去最低の稼動と粗利を記録しました。
パチンコ遊技機の稼動低下（特に4円貸しパチンコ）が続いており、平成21年以降順調に推移してきたパチスロ遊技機の稼動が頭打ちとなり、ホール全体の業績を補うことが出来ず、依然として厳しい状況が続いております。

② 大規模チェーン店による大型店舗の積極的な新店・改装などの投資が行われた一方で、閉店や休業となる店舗数は増加しており、ホール経営企業間の業績格差は大きくなっていると思われます。

③ 平成25年度中における全国のホール件数は11,893店（△256店）。全国の遊技機設置台数は、 パチンコ遊技機は減少（ △33,162台）となりましたが、パチスロ遊技機の増加（+52,829台）により、4,611,714台（+19,678台）と4年連続の増加となりました。1店舗当りの遊技機設置台数は387.8台（+9.8台）と増加し、店舗の大型化が一層進んでいる状況が伺えます。

（データ出所） 警察庁生活安全局「平成25年度中における風俗関係事犯の取締状況等について」

Copyright ©DAIKOKU DENKI Co.,Ltd. All rights reserved.

最近の業界動向・見通し

○ 当面の業界動向

① わが国経済は、政府の更なる経済対策、金融政策の効果などを背景に、緩やかな景気回復基調にありますが、消費税増税により先行きは不透明な状況にあります。当社が携わる余暇産業であるパチンコ業界におきましても、景気回復への波及はまだしばらくかかるものと思われますが、中期的には「2020年東京五輪」開催に向け景気も徐々に回復すると予想されます。

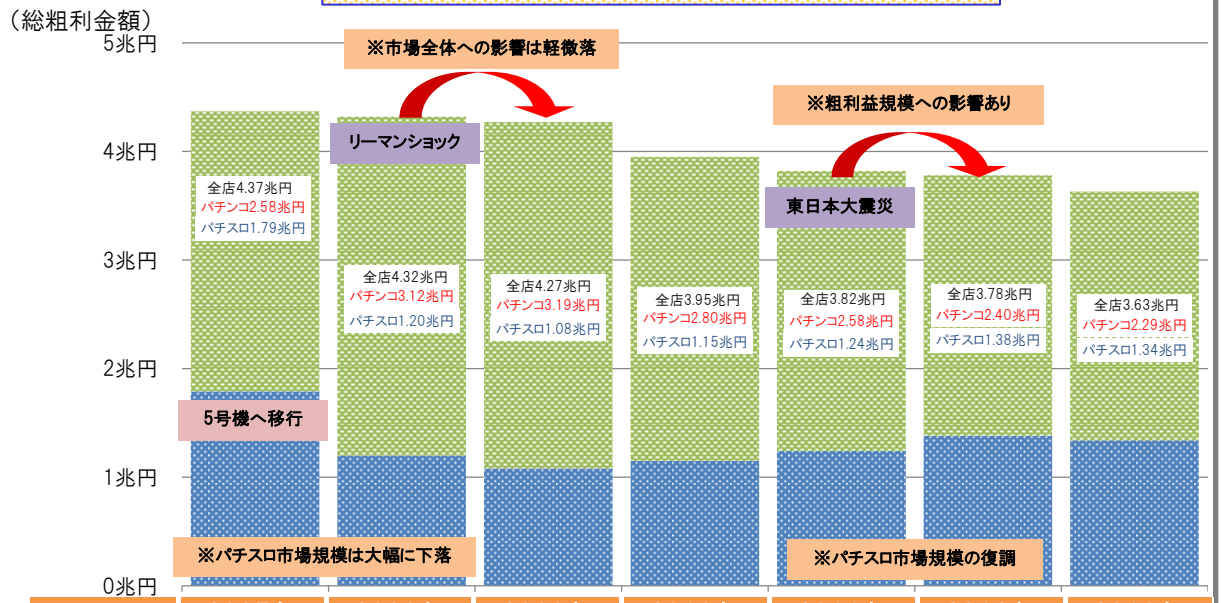
② 今期のパチンコホール市場は未だ拡大基調には無く、その規模は前期程度と想定されます。企業規模の拡大には各企業とも未だ慎重傾向にあり、既存店舗の集客に尽力するものと思われます。従前のように宣伝広告や遊技機入替えの効果が高いと思われますが、広告規制や費用対効果を考えれば積極的には動きにくく、引き続き情報公開端末の導入・入替や空調設備の更新などファンにとって快適な遊技環境を提供する設備を充実させ、集客の維持向上を狙ってくるものと想定しております。

Copyright ©DAIKOKU DENKI Co.,Ltd. All rights reserved.

事業環境__ 市場総粗利規模の変化と年別業績推移

市場は、短期的には厳しいものの、中期的には市場規模4兆円に向かって回復と予想

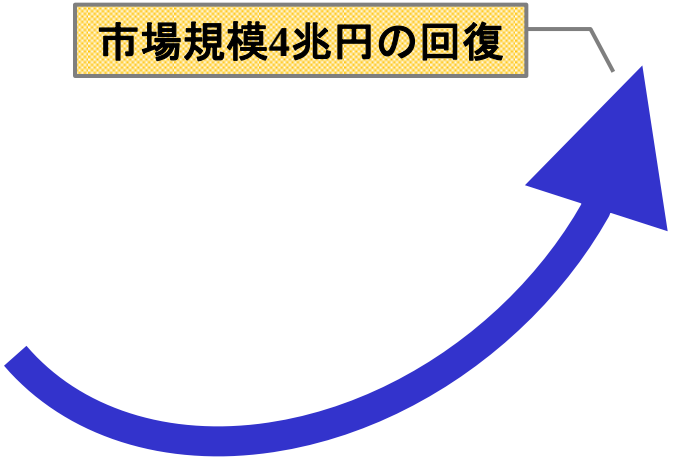
パチンコ事業環境
【総粗利益規模の変化と年別業績】
（注）調査資料の出処　ダイコク電機「DK-SIS」



	項目	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年
市場規模	粗利規模	4.37兆円	4.32兆円	4.27兆円	3.95兆円	3.82兆円	3.78兆円	3.63兆円
	設置台数	459万台	453万台	451万台	455万台	458万台	459万台	461万台
	営業所数	13,585	12,937	12,600	12,479	12,323	12,149	11,893
全店（SIS）	稼働時間	5.1時間	5時間	4.9時間	4.7時間	4.7時間	4.6時間	4.4時間
	台売上	29,500円	27,300円	26,700円	24,200円	23,700円	23,400円	22,700円
	台粗利	3,960円	4,130円	4,120円	3,780円	3,670円	3,560円	3,400円
	時間粗利	780円	830円	840円	800円	780円	770円	770円

※粗利規模データはDK-SISデータより市場データを推測した数値
※稼働時間は1時間あたりパチンコ：5000玉、パチスロ2000枚で算出

弊社がイメージする当面の市場推移
（弊社推定）

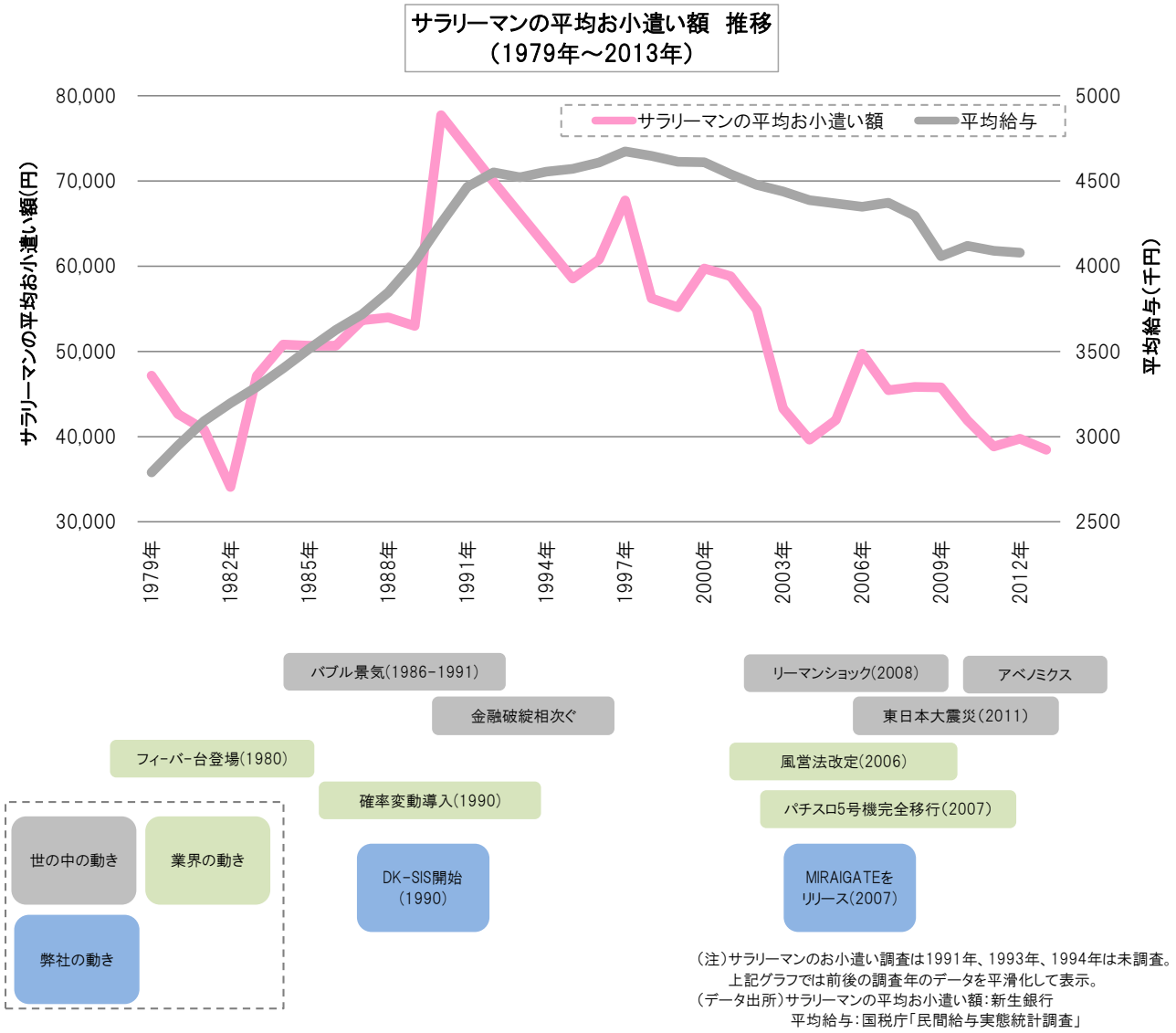


消費税率引上げ

東京五輪開催

Copyright ©DAIKOKU DENKI Co.,Ltd. All rights reserved.

ご参考　サラリーマンの平均お小遣い額推移



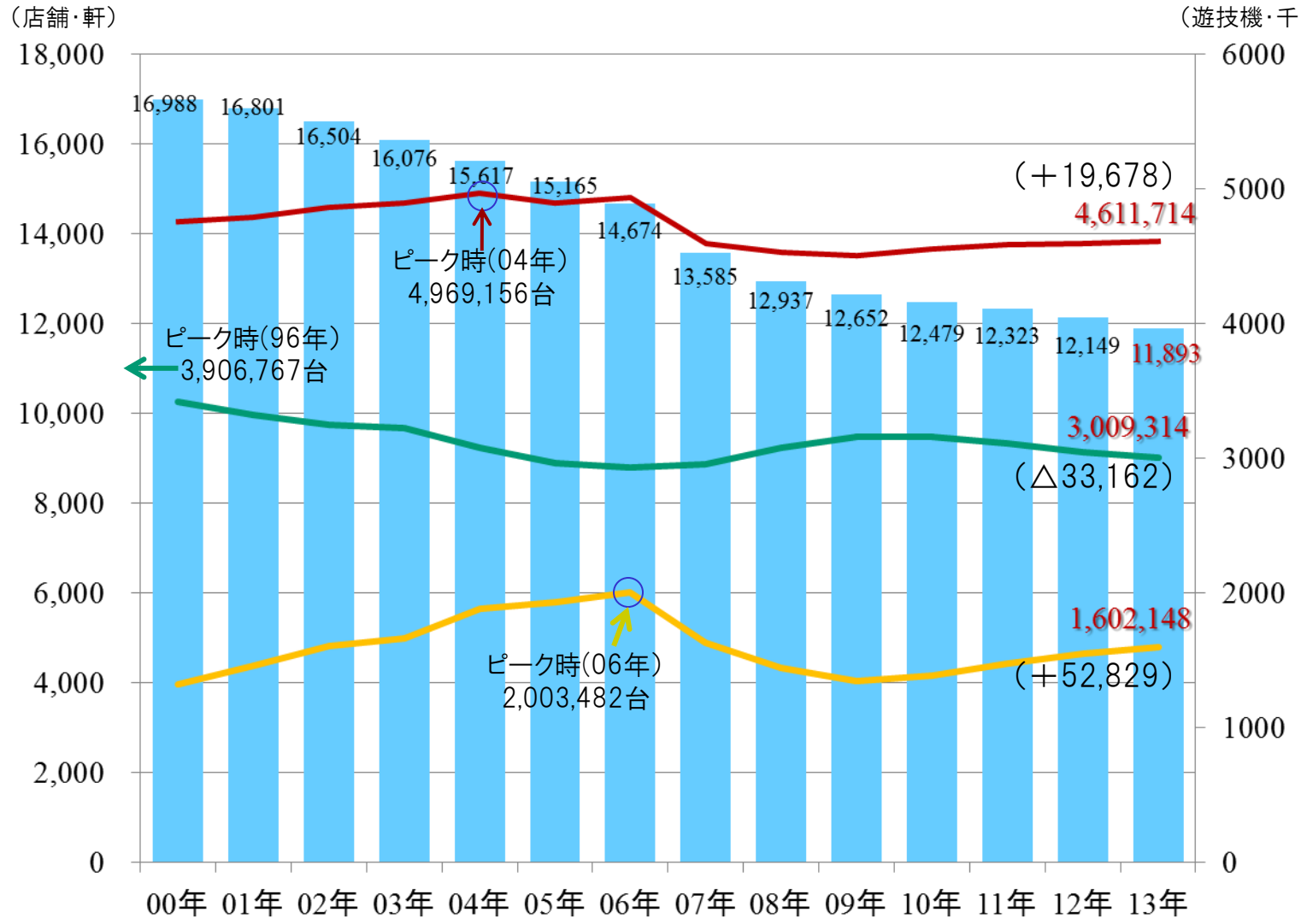
（注）サラリーマンのお小遣い調査は1991年、1993年、1994年は未調査。
上記グラフでは前後の調査年のデータを平滑化して表示。
（データ出所）サラリーマンの平均お小遣い額：新生銀行
平均給与：国税庁「民間給与実態統計調査」

- 1990年代以降、日本のお小遣いは低下傾向で推移しています。
- 最近、ベースアップの動きが広がりつつあります。人手不足もあり、当面、日本企業の給与は底堅く推移する可能性が高いと推定しています。
- 短期的には、消費税率引上げの影響から、お小遣い額は落ち込むかも知れませんが、中期的には、上昇に向かうことを期待しています。

Copyright ©DAIKOKU DENKI Co.,Ltd. All rights reserved.

パチンコ事業環境

パチンコ店舗数およびパチンコ・パチスロ遊技機設置台数の推移



■パチンコ店舗数 11,893店
（前年比　△256店舗）

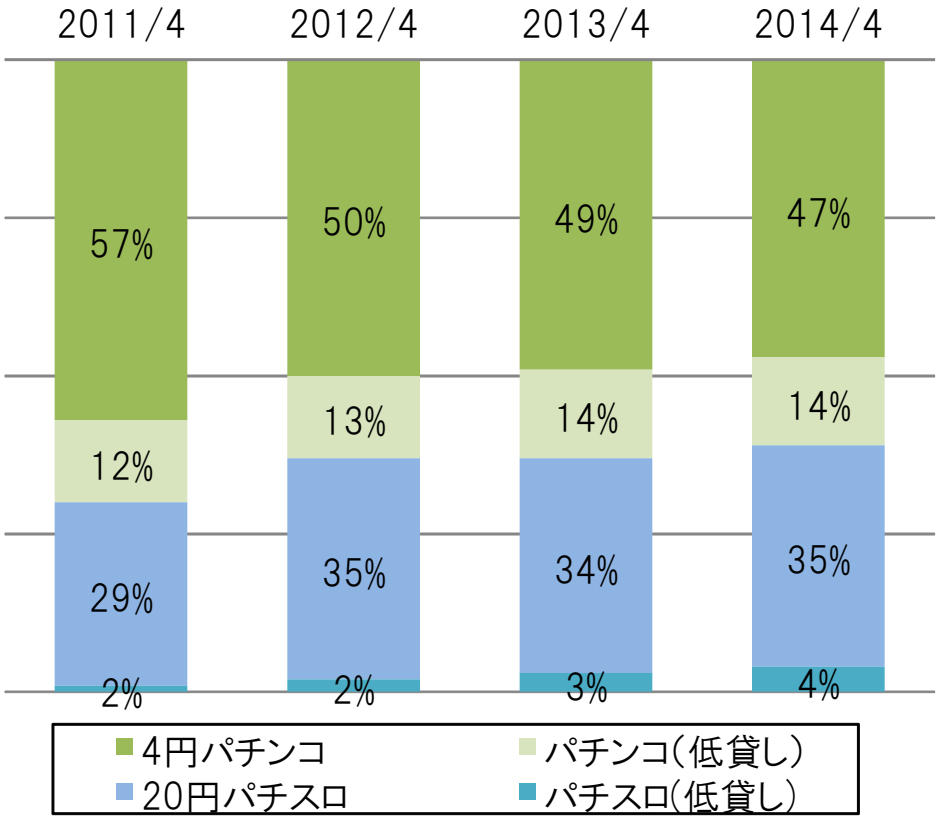
■遊技機設置台数
1店舗あたり 387.8台
（前年比　＋9.8台）
全体　461万台
（前年比　+19,678台）

（データ出所） 警察庁生活安全局保安課「平成25年中における風俗関係事犯の取締状況等について」

Copyright ©DAIKOKU DENKI Co.,Ltd. All rights reserved.

粗利構造の変遷

（2011年～2014年の4月比較）



（データ出所）

ダイコク電機「DK－SIS」より

粗利シェア

	2011年	2012年	2013年	2014年
4円パチンコ	57%	50%	49%	47%
パチンコ(低貸し)	12%	13%	14%	14%
20円パチスロ	29%	35%	34%	35%
パチスロ(低貸し)	2%	2%	3%	4%

台数シェア

台数シェア

	2011年	2012年	2013年	2014年
4円パチンコ	50%	45%	42%	40%
パチンコ(低貸し)	20%	22%	23%	24%
20円パチスロ	27%	29%	28%	29%
パチスロ(低貸し)	3%	4%	7%	7%

<粗利シェアから読み取る>

○4円パチンコは減少

○20円パチスロは増加から横這いへ

○パチスロ(低貸し)は 徐々に増加

店舗づくり(台数構成)の先行指標

4円パチンコシェアは継続的に減少

低貸しパチンコシェアは横這い

20円パチスロシェアは微増

低貸しパチスロシェアは増加傾向へ

Copyright ©DAIKOKU DENKI Co.,Ltd. All rights reserved.

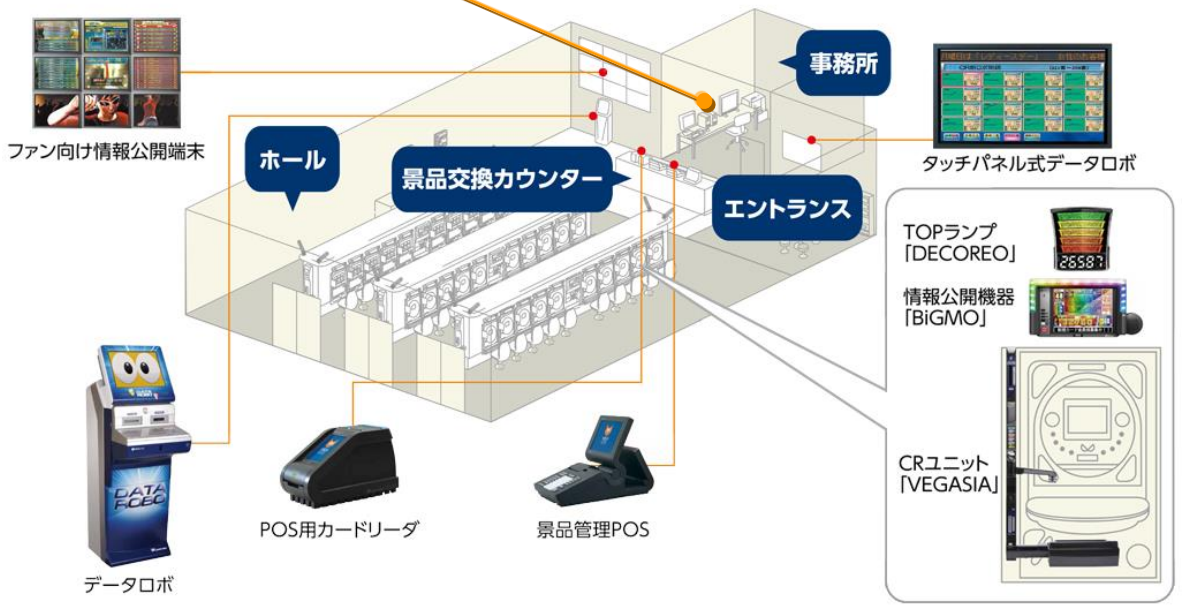
市場の35%のトップシェアを占めるホールコンピュータ

弊社ホールコンピュータ

営業管理コンピュータ
営業端末MT－01Ⅱ

＝ **市場の35%のトップシェア**

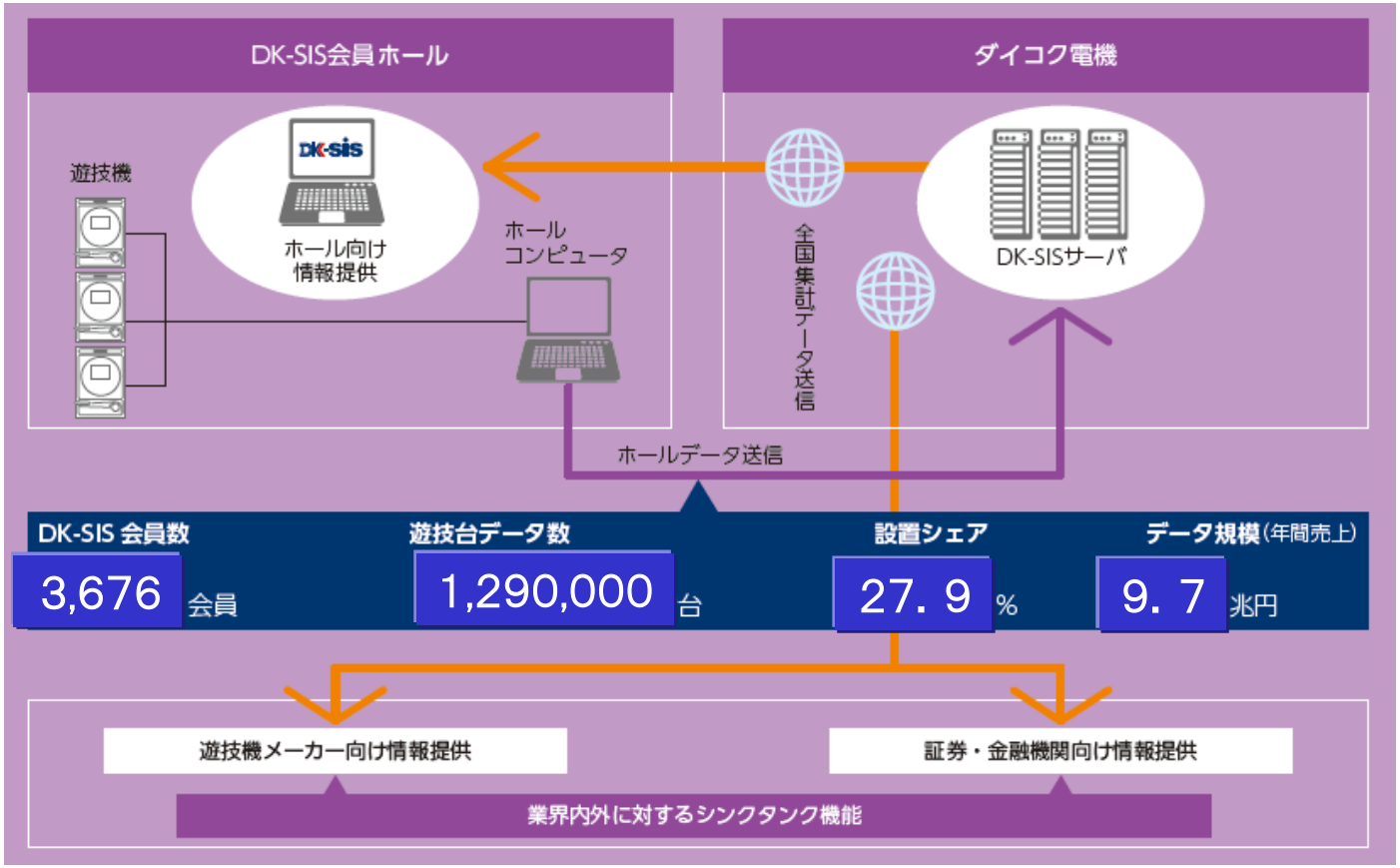
ダイコク電機は、創業当初、電気回路の製作を得意とし、その知識と技術を活かし、パチンコ玉をカウントする装置を開発。その後、台ごとにデータを収集し、管理する独自のシステムをはじめ、遊技機のデータをお客さまに公開する情報端末「データロボ」、店舗経営を支援する情報提供サービス「DK-SIS」の開発、「MIRAIGATE」ブランドを立ち上げるなど、業界に先駆け、新たな製品・サービスを提供させて頂いております。



Copyright ©DAIKOKU DENKI Co.,Ltd. All rights reserved.

戦略情報システム「DK－SIS」

ホールの業績向上を導く業界随一の戦略情報ツール、それが「DK-SIS」



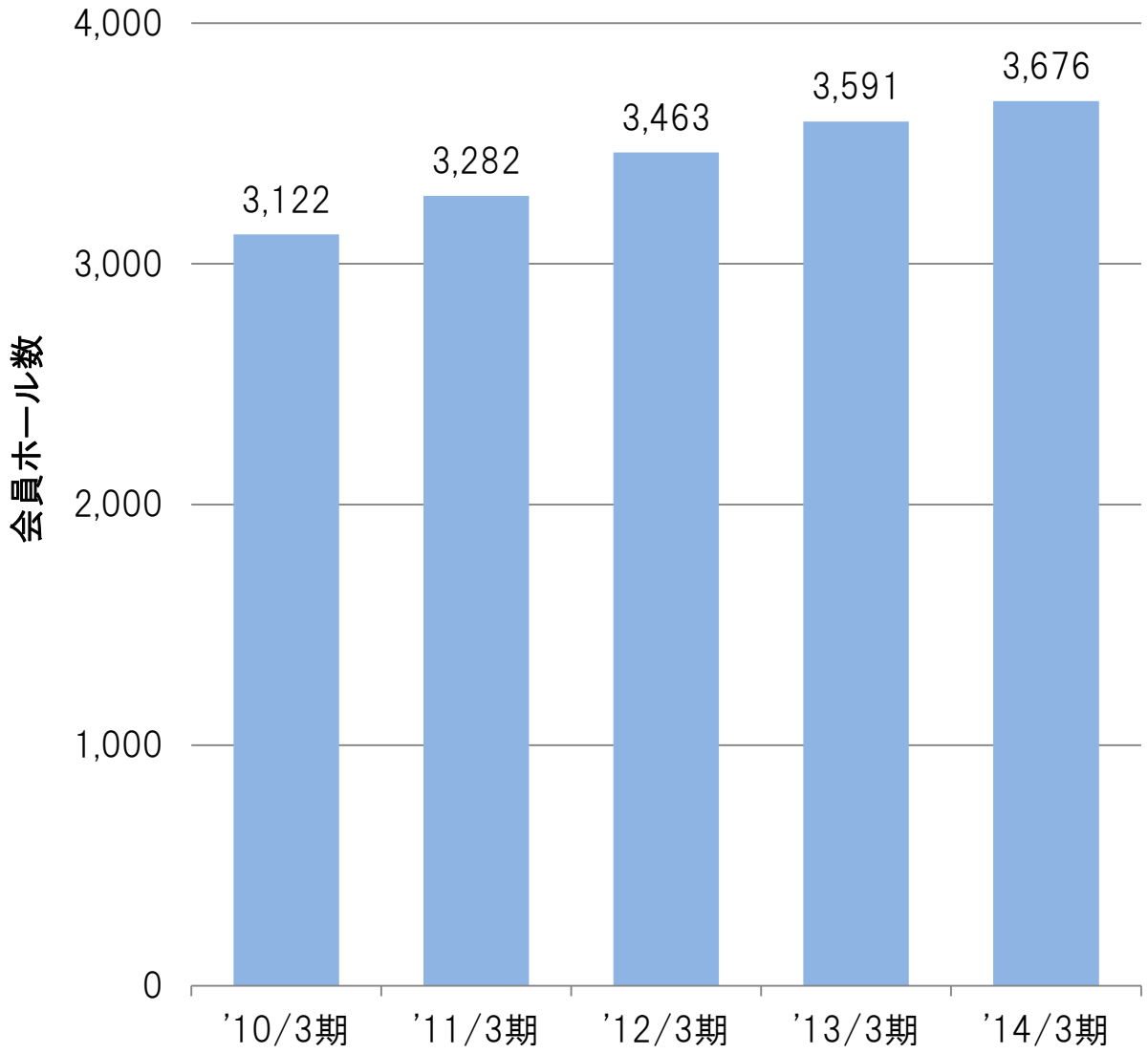
DK-SISの強み

- ●約129万台の遊技機・年間売上9.7兆円規模のデータを核とした営業ノウハウの蓄積
- ●DK-SISデータをバックボーンとした各種コンサルティングサービスの提供
- ●DK-SISデータを活用した遊技機メーカーへの戦略的な提案・営業活動

Copyright ©DAIKOKU DENKI Co.,Ltd. All rights reserved.

「DK－SIS」会員数推移

DK-SIS会員数の推移グラフ



（2014年3月期 実績）

会員数　3,676会員

管理台数　129万台

売上規模　9.7兆円分のデータ保有

全国のパチンコ･パチスロ遊技機台数
27.9% ものデータを有する
パチンコ業界唯一の情報戦略ツール

Copyright ©DAIKOKU DENKI Co.,Ltd. All rights reserved.

事業戦略・施策

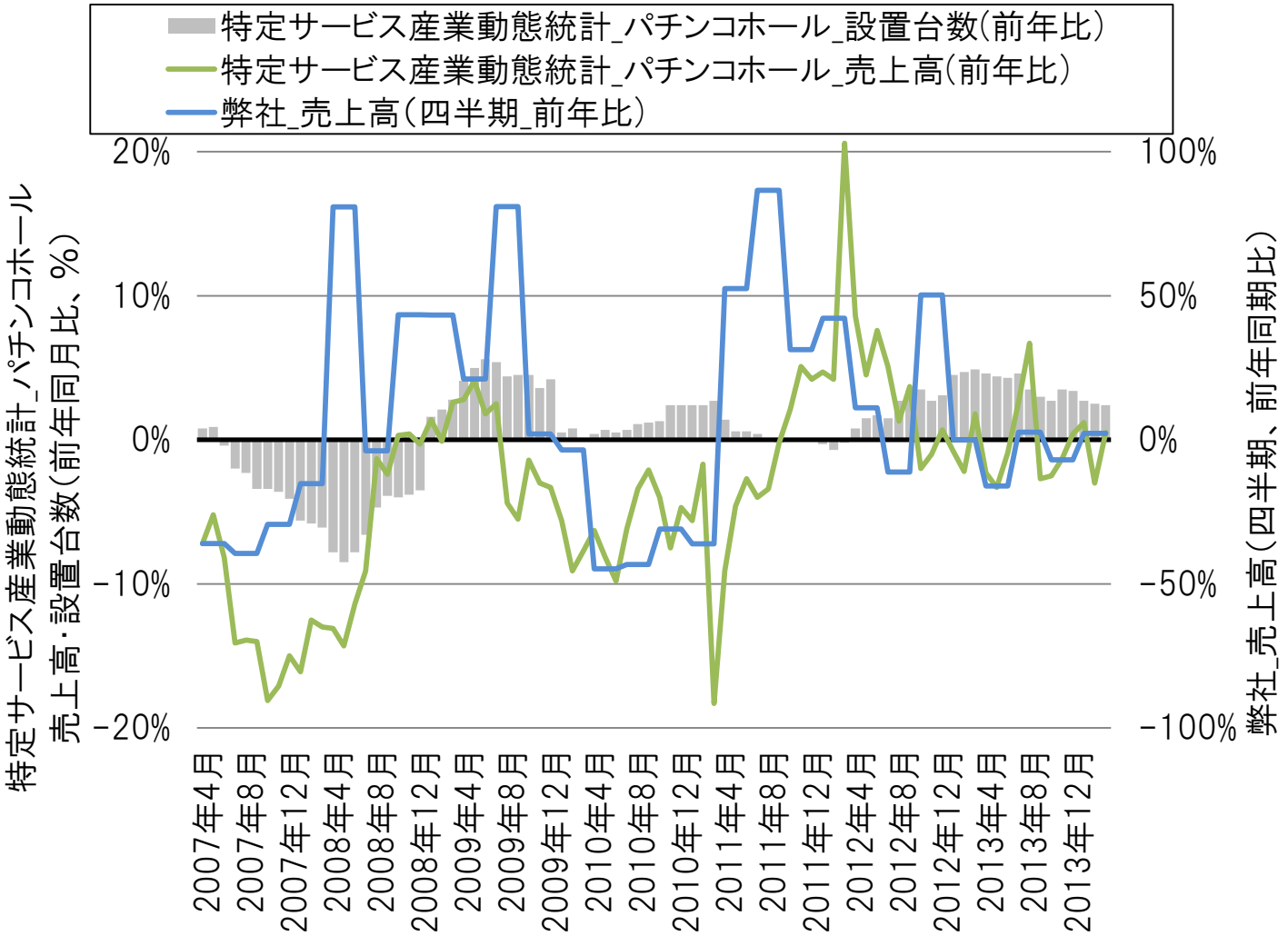
Copyright ©DAIKOKU DENKI Co.,Ltd. All rights reserved.

戦略的方向性

Ⅰ	CRユニット「VEGASIA」や「BiGMO PREMIUM」を中心とした 台毎データ表示機の拡販や、MIRAIGATEサービスの 拡大によるに安定した業績への取り組み
Ⅱ	パチスロ遊技機の開発体制の強化など新規事業を通じた、 中期的な収益力の向上
Ⅲ	パチンコホール向け「次世代主力製品群」の開発に向けた 積極的な投資を推進

Copyright ©DAIKOKU DENKI Co.,Ltd. All rights reserved.

特定サービス産業動態統計（パチンコホール）

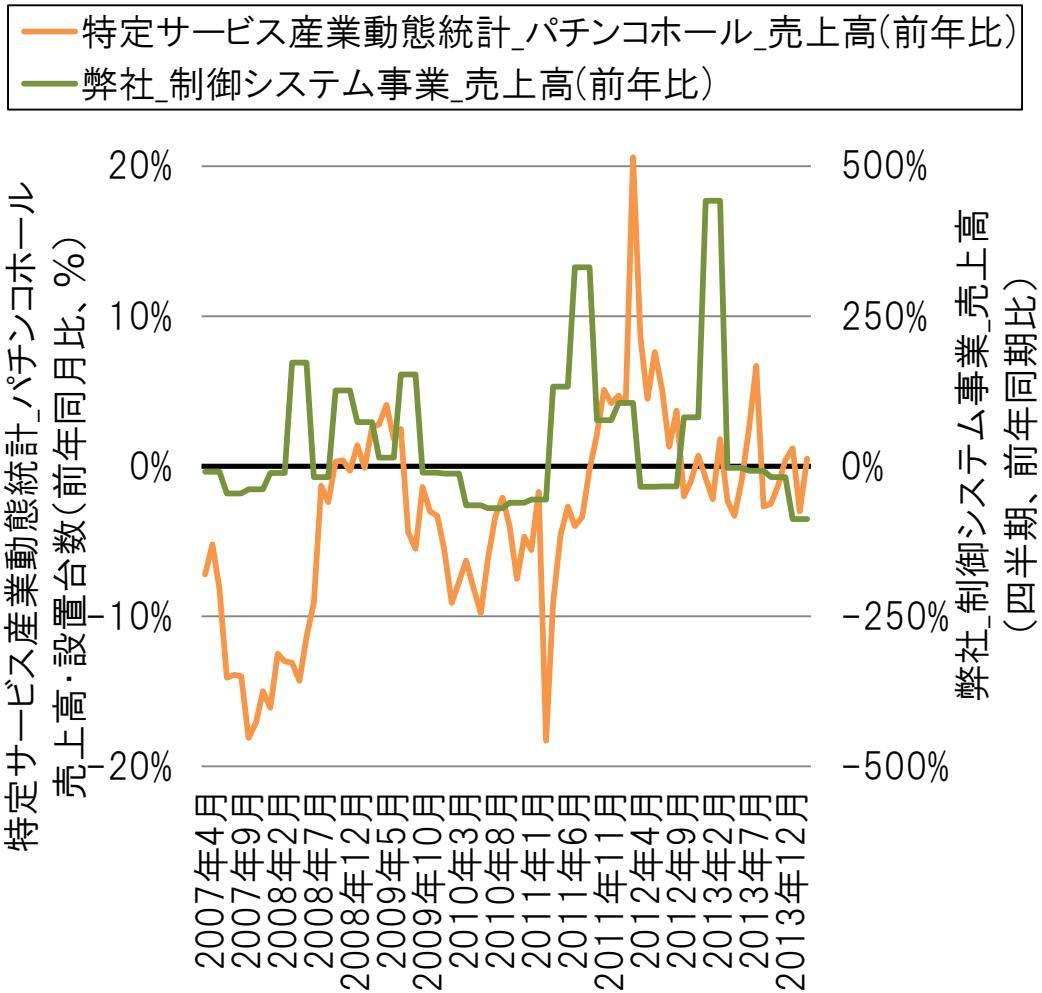


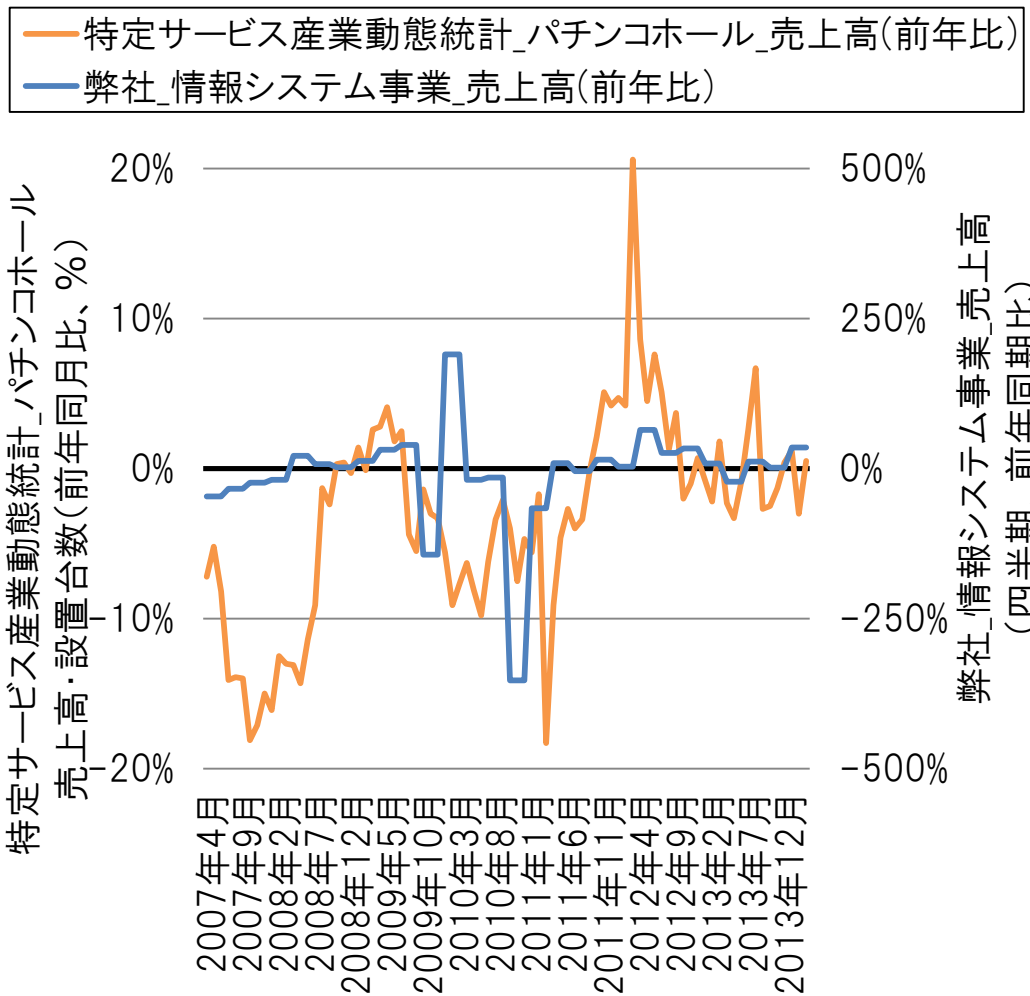
（データ出所） 特定サービス産業動態統計調査 パチンコホール （経済産業省、2014.5.14）

Copyright ©DAIKOKU DENKI Co.,Ltd. All rights reserved.

［ご参考］ パチンコ事業環境

特定サービス産業動態統計（パチンコホール）





（データ出所） 特定サービス産業動態統計調査　パチンコホール （経済産業省、2014.5.14）

Copyright ©DAIKOKU DENKI Co.,Ltd. All rights reserved.

ダイコク電機の事業戦略

情報システム事業部

Copyright ©DAIKOKU DENKI Co.,Ltd. All rights reserved.

情報システム事業

次世代製品群開発投資を本格的に実施

MIRAIGATEユーザーとの関係強化を図り、
付加価値サービスを提供し続ける

市場競争力のある製品を作り、
新製品をタイムリーに市場へ投入

Copyright ©DAIKOKU DENKI Co.,Ltd. All rights reserved.

ダイコク電機の事業戦略

制御システム事業部

Copyright ©DAIKOKU DENKI Co.,Ltd. All rights reserved.

制御システム事業

パチンコホールへの稼動貢献

3年先の市場環境を見据えた機械作りを開始

パチスロ遊技機の複数機種販売

Copyright ©DAIKOKU DENKI Co.,Ltd. All rights reserved.

パチスロ事業の本格的展開へ

ホールへの稼動貢献を目標に、複数機種で販売台数を増加

2014年3月期 実績

まじかるすいーと プリズムナナ
MAGICAL SUITE PRISM NANA TM

※「累計台粗利」とは・・・
登場してからDK-SIS平均稼動を下回る
までの期間における「台粗利」の合計

プリズムナナの業績貢献について

（データ出所） ダイコク電機「DK-SIS」

販売台数 ・・・ 約4,000台

パチスロ機種貢献順位 ・・・19位/74機種中（2013年発売のARTタイプ ）

稼動貢献 ・・・10週達成、 累計台粗利 ・・・54万7,000円（粗利貢献達成）

2015年3月期 パチスロ遊技機の複数機種販売

	2014年3月期	2015年3月期
	通期実績	通期計画
販売機種数	1機種	2機種
販売台数	3,949 台	12,000台

「アニメ世代」に注目されている
『萌えスロ』を中心に展開

「ファン」・「ホール」が求める高稼動パチスロ製品を作成し、
アニメファンに期待される会社へ

Copyright ©DAIKOKU DENKI Co.,Ltd. All rights reserved.

中期経営計画について

Copyright ©DAIKOKU DENKI Co.,Ltd. All rights reserved.

評価と信頼をベースとした成長の実現

情報システム事業

次世代システムが完成する数年後につないでいく重要な3年間と位置づけ、パチンコホール経営企業とサービス足場を固めつつ、新たなサービス・製品の提案によって、ブランド評価を一層高めていきます。

制御システム事業

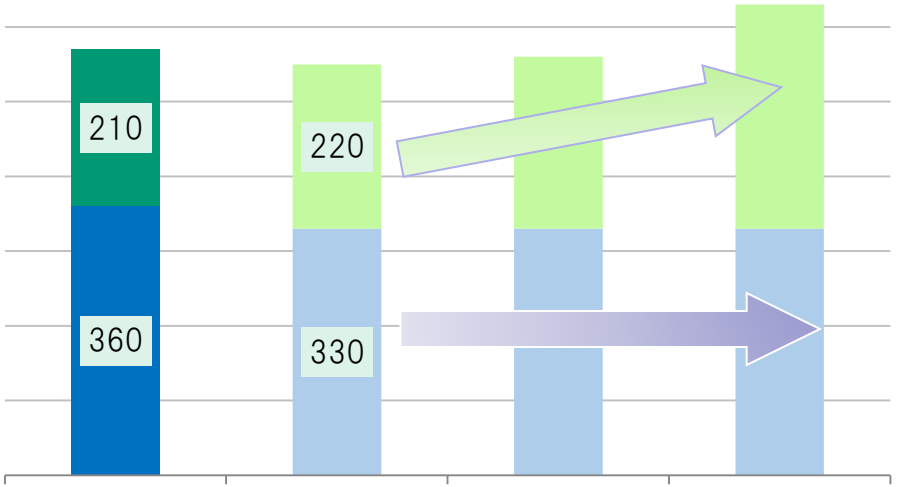
① 多くのパチンコファンに支持される機種を効率的に開発するために、遊技機メーカーとの信頼関係を強化いたします。

② パチスロ事業の黒字化による収益の改善

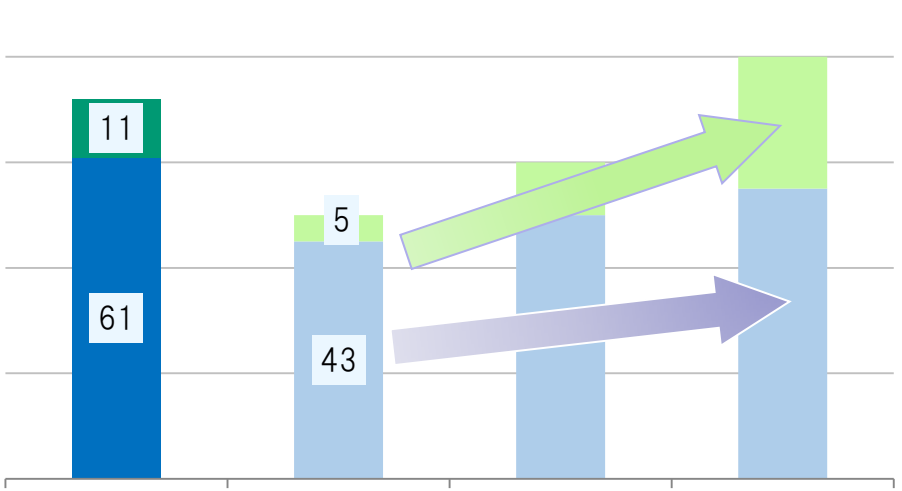
Copyright ©DAIKOKU DENKI Co.,Ltd. All rights reserved.

評価と信頼をベースとした成長の実現

中期 売上高見込み



中期 セグメント利益見込み



（注）事業の種類別セグメントの業績の金額には、セグメント間取引が含まれております。

＜情報システム事業＞

次世代システムが完成する数年後につないでいく重要な3年間と位置づけ、MGサービスの強化によりパチンコホール経営企業との結びつきを強め（利益率向上）、新製品のタイムリーな提案により、売上を伸ばしていきます。

＜制御システム事業＞

稼動貢献できる遊技機の開発、パチスロ事業の黒字化による収益の改善

Copyright ©DAIKOKU DENKI Co.,Ltd. All rights reserved.

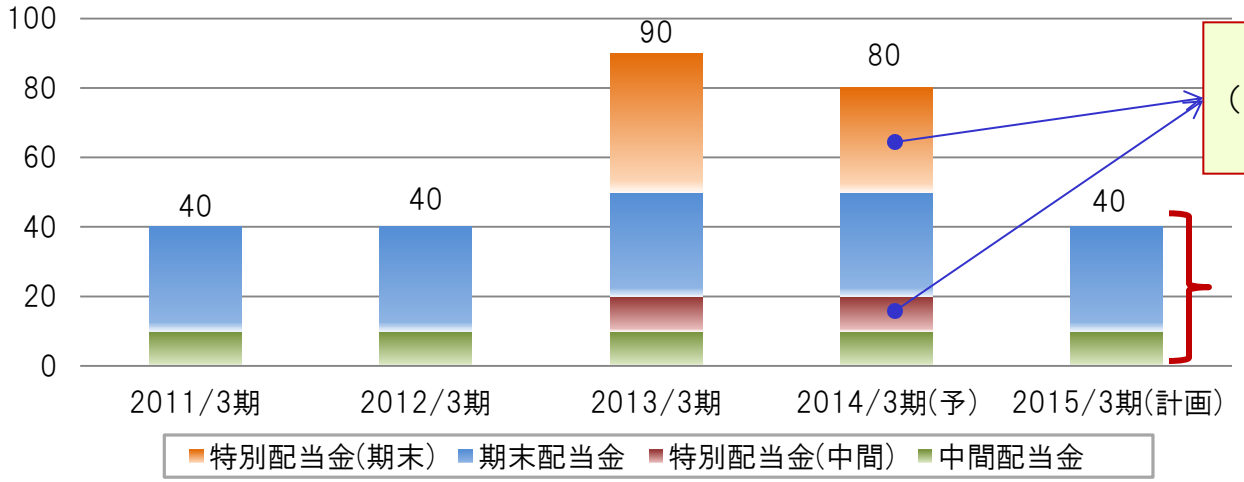
配当について

Copyright ©DAIKOKU DENKI Co.,Ltd. All rights reserved.

配当について

＜方針＞当社は「安定配当」をベースに、収益に応じた「特別配当」を実施

単位：百万円	売上高	営業利益	当期純利益	配当性向
2011/3期	34,483	226	△342	―%
2012/3期	47,096	3,525	1,663	35.6%
2013/3期	58,861	7,023	4,161	32.0%
2014/3期	56,954	5,338	3,278	36.1%
2015/3期	55,000	3,000	2,000	29.5%



※業績に応じて「特別配当」を実施しています。
（昨年は中間で10円、期末で30円の特別配当を実施）
※グラフ内「オレンジ色」部分

年間40円の安定配当 部分
（中間配当10円、期末配当30円）

Copyright ©DAIKOKU DENKI Co.,Ltd. All rights reserved.

注　記

本資料に掲載されているダイコク電機の現在の計画、見通し、戦略、確信等のうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。これらの情報は、現在入手可能な情報から当社の経営者の判断に基づいて作成されております。

実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、業績見通しのみに全面的に依拠することは控えるようお願い致します。

また、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。

投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるよう、お願い申し上げます。

■お問合せ先

ダイコク電機株式会社　総務部　IR担当

TEL 052-581-7111

E-MAIL　xsomu@daikoku.co.jp

Copyright ©DAIKOKU DENKI Co.,Ltd. All rights reserved.